



校訓 『向学』『友情』『創造』

古賀北中 学校だより

回覧用

12月号

令和3年12月3日 No.8

古賀市立古賀北中学校

校長 早川 昌吾

生徒数 565名

1年生 185名

2年生 178名

3年生 202名

## 人権について考える日『ヒューマン・ライツ・ミーティング』 気持ちがほっこりした一日でした

11月号でもお知らせしていた「ヒューマン・ライツ・ミーティング」が、11月13日（土）に実施されました。

人権に関する「道徳」、がん教育講演会、人権標語・作文発表、そして各学級の「人権宣言」発表と続き、最後に生徒会役員による「北中の人権宣言」が発表されました。

各学級の発表では、「気持ちを考える」や「相手を大切にする」という言葉が多く見られたようです。そこで、北中のリーダーである生徒会役員は、これからの北中では、皆さんが笑顔で過ごすために、人の気持ちを考え、『ありがとう』や『ごめんね』、『うれしい』などの温かい言葉『結言葉（ゆいことば）』をたくさんつかってほしいという願いを込めて、この『宣言』をつくりました。



全校生徒による「共同制作作品」

### 2021 古賀北中人権宣言

**我々、古賀北中学校生は、みんなの笑顔を守(まも)るために、人との関わりが深まる“結言葉”を使い、互いの個性を認め合って、「結」を築いていくことを誓います**

この宣言は、各学級で話し合い、考えた「宣言」を、生徒会役員がキーワードをまとめ、願いを込めてつくったものです。つまり、**北中の全校生徒でつくったもの**です！とても大切なものとして、生徒のみなさん、先生方、北中に関わるすべての人達で、来年度まで大切に語り継いでいってほしいと思います。



学級での話し合い



道徳の学習の様子



がん教育講演会



各学級の「人権宣言」

「**言霊(ことだま)**」という言葉があります。古代日本人は、**言葉に宿る力**が信じられており、「和歌」などを中心にその考えが受け継がれてきました。しかし、現代社会においては、特に最近においてSNSで使われる「言葉」が人を傷つけたり、誤解を招いたりしています。

今回のHRMに取り組んで感じたことですが、生徒のみなさんの話し合いや宣言を観ていて、**改めて「ことば」の大切さ**を感じました。それは、温かさ、逆に、怖さ、など、言葉は「言霊」として、時には自分の思いもよらない力を発揮し、**人と人との関係を繋いだり、結んだり、引き離したりする**ということを考えさせられました。

「ことば」に宿るそんな力を信じて、北中の皆さんが「**結言葉**」(「ありがとう」「ごめんね」「うれしい」「おかげさま」etc…)をたくさんつかうことで、「**言霊**」を友達にしてほしいと思います。生徒のみなさん、先生方、北中に関わる人達みんな、さらに**温かい学校**をつくっていきましょう。

<生徒の振り返りより>今回は1年生を紹介します

#### 【講演会を聞いて】

がんを経験した方の話を聞いて、ガンになったからこそわかる命の大切さや周りからのサポートのありがたみができるんだと知った。(1-5 山下さん)

#### 【生徒会発表を聞いて】

学校の全員が参加してつくった制作物だからすごくスッキリした気分になりました。「結言葉」に「つながり」の言葉が入っていて、素敵だなと思いました。(1-5 長村さん)

#### 【作品発表を聞いて】

一人一人みんな違うし、向いていることもあれば向いていないこともあるという言葉が心に残りました。人は傷つくと心の傷はずっと残ったままなので相手のことを考えていきたいです。(1-2 島田さん)

## 演劇部が熱演、「平和劇」感動をありがとう！

令和3年度の演劇部による「平和劇」  
 題目は、「なでしこ隊の23日間」でした。  
 終戦間近の鹿児島県知覧にあった陸軍特別攻撃隊。  
 そこでの特攻隊員と、そのお世話の任務を任された地元の女学生「なでしこ隊」の物語。



「命」「別れ」「恩」「感謝」さまざまな人々の思いが戦争という最大の悲しい出来事に翻弄されていく。そんな当時の人達の姿や気持ちを演劇部員の皆さんが熱演してくれました。



2年生は、12月15日(水)にこの舞台である「知覧」地を訪問します。「戦争はしてはいけない」ということだけではなく、当時の人達の想いや気持ちを体感してほしいと願っています。

## スローガンGRIT～やり抜く～ 令和3年度中文連総合発表会

11月21日(日)クリエイト篠栗において、第23回総合発表会が開催されました。北中からは、吹奏楽部のアンサンブル、美術作品、家庭科作品などで参加し、日頃の活動の成果を披露することができました。



その中で、理科自由研究において篠倉 世抄さんが入賞し、表彰されました。

入選「薬の構造について」



美術作品



家庭科作品

糟屋区内の中学生の作品が一堂に会し、高いレベルでの制作、および発表を観ることができました。そのような素晴らしい作品達の中でも北中の文化部の皆さんの作品は存在感を示していました。今後も「自分独自」や「自分のひらめき」を大切にして、大いに活動を楽しんでほしいと思いました。

(吹奏楽のステージ発表の写真については専門部で撮影しているため、掲載できていません)

## 2年生が、英語の授業でマラウイの子供たちと交流しました

現在、福岡県教育センターで長期研修している指方先生が、11月に本校で、ICTを活用した英語科の検証授業をしてくれました。授業の中で、指方先生は、アフリカのマラウイの子供たちとの交流を提案してくれました。(以下、ジャイカ九州HPより)



JICA マラウイ事務所の青柳職員より、マラウイの学校の様子や生徒達からのメッセージをビデオレターで頂きました。また、偶然にも古賀北中学校が青柳職員の母校であることから同校中学生に向けて「先輩からのメッセージ」も一緒に送ってもらいました。

古賀北中学校の生徒さんたちは、マラウイの学校の様子新鮮だったようで、食い入るように映像を見ていました。感じたことや疑問に思ったことをメモして、後日作成する手紙の内容を考えてもらいました。

生徒さんからは、「住んでいる所は違うけれど近くに感じました。国が違うだけで文化や生活が全く変わるので、マラウイの人たちのことも知りたいし、日本のことも知ってほしいと思いました」といった感想がありました。



## 2年生、修学旅行に、「行ってきます！」

新型コロナウイルス感染症は今現在、新規感染者数も減少している状況です。

2年生は、予定どおり、12月15日(水)～17日(金)に修学旅行に出発します。

生徒のみなさんは、体調をしっかりと管理して万全を尽くしてください。

期間中は、「安心安全メール」と本校のFacebookにおいて近況報告しますので、保護者の方々におかれましてはお知りおきください。

### 12月の主な予定

- ◇5日 いのち輝くまち☆こが
- ※6日 進路「書類作成依頼書」提出メ切り
- ◇9日 1年 認知症サポーター養成講座
- ◇10日 世界人権デー
- ◇13日 生活・学習アンケート
- ※15日 有朋専願一般入試
- ◇15日 2年 修学旅行～17日(鹿児島県)
- ◇23日 大掃除
- ◇24日 後期前半終了  
生徒会退任・認証式
- ◇27日 生徒会リーダー研修

### 1月の主な予定

- ◇5日 後期後半開始日(給食なし)
- ◇6日 3時間授業(給食なし)
- ◇8日 筑前新人駅伝大会
- ◇10日 成人の日
- ◇12日 生活アンケート  
総合専門委員会
- ◇14日 新入生説明会  
まるとと体験
- ※15日 北九・有明高専推薦入試
- ※21日 私立専願入試
- ◇21日 1・2年学カテスト
- ※22日 久留米高専推薦入試
- ◇24日 避難訓練
- ※26日 公立特色化選抜入試
- ◇26日 総合専門委員会